



- 一、中国高校歴史教育の内容
- 二、中日高校歴史教科書の比較
- 三、中国歴史教育から見るジェンダー

一、中国高校歴史教育の内容

中国の歴史教育の目的

- 唯物史観を養い
- 国情把握、愛国主義教育
- 正確な国際意識と国際競争意識を導く
- 伝統的な美德、正しい道德観、人生観、価値観、健全な人格、また社会発展にふさわしい公民意識、品格の形成

.....

「中国高校歴史教育指導要綱」より

『世界史B』 目標

- 世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解させ、文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

『高等学校学習指導要領解説 地理歴史編』より

1、必修科目

『中国近現代史』(毎週3コマ、総99コマ)

2、選択科目

選択Ⅰ 『世界近現代史』(毎週2コマ、総65コマ)

選択Ⅱ 『中国古代史』(毎週2.5コマ、総60コマ)

文科生によって三つの科目も必修である。

中国近代史

- 中国の近代
1840年のアヘン戦争～1949年中華人民共和国成立
- 近代中国の主な矛盾
帝国主義と中華民族の矛盾(最も主要)
封建主義と大衆人民の矛盾
- 半植民地半封建社会の歴史
- 中国共産党の下で人民が反帝国反封建ために、
民族独立、社会の進歩を実現するために戦う歴史

中国現代史

- 現代の始まり—中華人民共和国の成立
- 新民主主義から社会主義へ(人民民主専制の国家政権)
- 国内主要矛盾の変化：階級矛盾から経済、文化の現状が人民の要求を満たすことができない矛盾へ
- 主要な任務：社会主義の建設
- 社会主義の建設：共産党のもとで偉大な成果を収めた

世界近代史

- **世界近代の発端** 14, 15世紀
- **資本主義の誕生、発展さらに世界資本主義体系の形成、帝国主義に移り変わった歴史**
- **内容として、以下の3点**
 - 1 資本主義の社会形態は思想文化、政治、経済、科学、技術などの領域において封建主義に勝利し、さらに世界資本主義体系を形成した。
 - 2 国際労働運動と社会主義運動のブームと発展
 - 3 抑圧された民族は侵略の反抗及び殖民支配との闘争
- **主要な矛盾**
 - 1 資本主義と封建主義の矛盾
 - 2 労働者と資本家階級の矛盾
 - 3 資本主義宗主国と植民地及び半植民地との矛盾
 - 4 資本主義各国の矛盾

世界現代史

- **発端** ロシアの十月革命の勝利
- **資本主義と社会主義：共存、影響、対抗**
- **各国の独立、民主平和と発展の歴史**
- **科学技術発展、経済グローバル化が進んでいる歴史**
- **第一次世界大戦後**
 - 1 資本主義国家内における労働者階級と資本家階級の矛盾
 - 2 資本主義国家と社会主義国家の矛盾
 - 3 資本主義国家と植民地及び半植民地の矛盾
 - 4 資本主義国家各国の矛盾
- **30年代後、ファシズムと反ファシズムが主要矛盾**

- **第二次世界大戦後**

世界資本主義と社会主義の相互対抗構造

先進国の資本主義国家間の闘争、及ぶ内部の対立

社会主義国家は生存と発展を実現させようとする戦い

第三世界の反植民主義、反覇権主義運動、国際の政治、経済の新しい秩序を実現させようとする戦い

超大国間の覇権争い

- **90年代冷戦の終わり**

世界の多極化、激しい反覇権主義の闘争

- **世界共有の課題** 平和と発展

中国古代史

- 百万年ぐらい前～1840年アヘン戦争直前
- 原始社会
- 奴隷社会
- 封建社会

- 生産関係を基準として分ける

二、中日教科書比較



歴史用語の比較

年代	中国	日本
1894～1895年	中日甲午戦争	日清戦争
1895年4月	馬関条約	下関条約
1899年～1900年	義和団運動	義和団事件
1901年9月	辛丑条約	北京議定書
1928年	済南虐殺	済南事件
1931年～1933年	九・一八事変	満州事変
1932年3月	偽満州国(成立)	満州国(成立)
1937～1945年	抗日戦争	日中戦争

歴史用語特徴

- 日本の歴史用語の命名→客観
- 戦争国の名前或いは場所の名前で名付ける

例 日清戦争、北京議定書、済南事件

- 中国の歴史用語の命名→主観の感情、干支紀年法、事件の日付

例 八国連国軍侵華戦争、抗日戦争、中日甲午戦争、辛丑条約、九・一八事件

内容の比較

注：日本の『世界史B』 人類の起源から現代まで
中国の高校世界歴史教育は大航海時代から現代まで
比較としては、『世界史B』の第Ⅲ部、8章から始める

大航海時代

日本

- 大航海時代

「そして、1557年、明からマカオの居住権を獲得して東アジア貿易にも参加した」

中国

- 新航路の開拓と初期植民活動

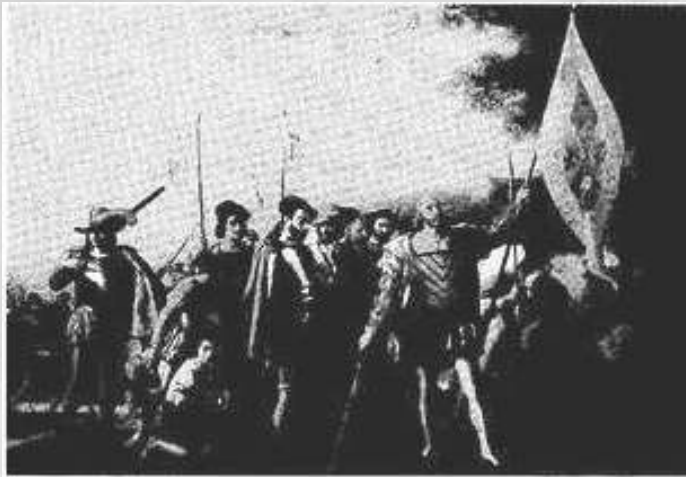
「1553年、ポルトガルの商人は嵐に遭ったことを口実し、中国の広東から上陸し、濡れられた商品を干し、それに乗じて(乘机)明朝官吏に賄賂を贈り、中国のマカオに居住するようになった。17世紀初、正式に居住権を獲得した。アヘン戦争後、ポルトガルはマカオを不法に占拠し、植民統治を始めた。」

詐欺、略奪、独占、コントロール



ハイチに上陸し先住民の歓迎をうけるコロンブス 16世紀ヨーロッパの人びとがいだいた「新大陸」のイメージ。

ハイチに上陸し先住民の歓迎を受けるコロンブス



哥伦布到达美洲

コロンブスはアメリカ大陸に**到着**

欧州の植民統治の残酷

- 中国教科書の記述
 - 1 植民地における先住民に対する残酷な統治、
 - 2 先住民が奴隷のように扱われ、虐殺された
 - 3 ヨーロッパからもたらした感染症による大量死亡

新航路開拓の影響

• 日本

新航路の開拓によるヨーロッパ勢力の海外進出は、世界の**一体化**を進めると同時に、ヨーロッパの社会そのものにさまざまな変化をもたらした。

• 中国

新航路開拓の成功は**西方植民時代の始まり**、世界形勢と歴史の発展過程に変化を起こった。ヨーロッパ人はアメリカ大陸とアジアの政治に浸透し、さらにコントロールした。**政治覇権と伴って、経済剥奪もさかんになった**。西ヨーロッパの宗教と文化の浸透のため、植民地域の文化とライフスタイルもだんだん変化してきた。それと同時に、地域の孤立状態を打破し、**世界もますます影響しあって、繋がって一体になる**。

ルネサンス

日本

- 人文主義について
- 「14世紀、イタリアでは、**神中心の伝統的な権威にとらわれずに、自由にかつ合理的人間や世界の現実を表現する動きが起こった**。それはギリシア・ローマの古典文化を模範と考えて、「源泉にもどれ」という精神のもとで、ラテン語やギリシア語で書かれた古典の収集や研究が精力的に行われた。」

中国

- 1ルネサンスを起こす原因
 - ◆資本主義との関係
- 2イタリアからはじめた原因

「人文主義は人の価値、人性を尊重し、人を宗教の束縛から解放されたものである。当時の文学、芸術、教育、さらにライフスタイルまでにも影響を与えた。」

「**資本家階級の反封建、反中世神学世界観の思想武器である。**」

「**人文主義があまり高く評価されたため、ルネサンスは個人欲望のふくらみと社会の混乱をもたらした。**」

シヨット

日本

- 「透視図法・明暗法が発達して写実表現が進んだが、その先駆者はシヨットであった。」
- 作品の写真、作品の内容、芸術作品の手法

中国

- 「壁画の内容は主に宗教に関するものである。人物の複雑な性格、真実な世俗世界が浮き彫りになった。」
- 先駆者の写真、作品の意味づけ(当時封建統治を批判など)



ダンテ



ガリレオ



セルバ
ンテス

宗教改革

・ 日本

「イギリスの宗教改革は国王ヘンリ8世の離婚問題をきっかけにおきたため、最初から政治的要素が強かった。」

カトリックの教会改革
対抗宗教改革(反宗教改革)

・ 中国

・ 宗教改革的背景

「中世紀の西欧、カトリック教会は最も力を持つ封建領主の集団で、封建領主の精神を支配する道具である。そのため、西欧の初期の資本家階級はしばしばカトリック教神学を反対の方法をを利用して、反封建の闘争をやっていた…カトリック教会の最高機関はローマ教皇庁である。宗教改革は16世紀に西欧各国の反カトリック教会の社会運動であり、宗教改革の仮面をかぶっての政治運動である。」

- ・ 宗教改革の意義
- ・ 「西欧の封建勢力に打撃を与えて、カトリック教会の精神独裁を崩壊させ、西欧各国の民族文化と教育の発展を促した。」

日本

・ ヨーロッパ諸国の植民活動と奴隷貿易

16世紀

- ・ 植民地の開拓、植民地の争奪をめぐって抗争、商品貿易、資源の獲得について詳しい
- ・ 植民された原住民の苦難の記述はかなり少ない
- ・ 「奴隷としてアメリカに運ばれた黒人の数は1000万人を超えたとすいていされ…」

中国

・ ヨーロッパ諸国の植民膨張

- ・ 植民地の争奪をめぐって抗争に詳しい
- ・ 植民国家の罪悪
虐殺
肉体労働の酷使
奴隷貿易
- 「アフリカからアメリカ大陸に運ばれた黒人の数は1500万人を超えたとすいていされ…」

<p>日本</p> <ul style="list-style-type: none"> • 9章 アジアの繁栄 <ul style="list-style-type: none"> 1 オスマン帝国とサファヴィー朝の繁栄 2 ムガル帝国 3 清帝国の隆盛 4 インド洋貿易圏の変容 	<p>中国</p> <ul style="list-style-type: none"> • 16-18世紀のアジア <ul style="list-style-type: none"> 1 徳川幕府支配された日本 2 朝鮮朝支配された朝鮮半島 3 ムガル帝国時代のインド
--	--

<p>日本</p> <ul style="list-style-type: none"> • 産業革命と資本主義の成立 • 産業革命の背景と社会の変化 <ul style="list-style-type: none"> ☞ 第二次囲い込み ☞ 農業革命 ☞ 食生活変化 • イギリスの綿織物業 • 重工業部門の産業革命 <ul style="list-style-type: none"> ☞ 技術革新、応用 ☞ 資源の輸入、輸出 <p>イラストを合わせて、技術を簡単に理解できる</p>	<p>中国</p> <ul style="list-style-type: none"> • 産業革命と資本主義経済の発展 • 産業革命の影響 <ul style="list-style-type: none"> 「1生産力の変化、またそれによる資本主義の統治を強固した。 2対立の階級の生まれ—資本家階級と労働者階級。 3先端生産技術が多くなるところに広がっている。東方世界が西方世界に従属するようになった。」
<p>日本</p> <p>1資本家と労働者の関係を基本とする社会を資本主義社会と呼んでいる。 2食料や原料の供給地とされた植民地の経済はゆがんだ発展を強いられた。多くの人々が鉱山労働者や農業労働者として移動あるいは移民し、多民族社会が形成された</p>	

ナポレオン

中国

ナポレオンの貢献

☞ ナポレオン法典

☞ 文化教育の貢献

(大学の成立、科学技術の発展)

- ナポレオン対外戦争および評価→

中国

• ナポレオン対外戦争および評価

- 「ナポレオンの早期戦争はフランス革命の成果を守り、封建制度をさらに崩壊させ、資本社会の秩序を強固するようになった。」
- 「また、フランス革命の精神が広く伝わって、客観的にヨーロッパ封建制度の崩壊と農民解放に役に立ったといえる。しかし、後期の戦争はヨーロッパ諸国の主権を侵害し、各国人民を略奪した。各地の反抗によって、最後、ナポレオンが失敗になった。**ナポレオンは資本家階級の政治的代表であり、彼の戦争もフランス資本家階級**の要求を反映し、侵略と略奪の性格を持つのも必然である。」

日本

• ナポレオンの支配と矛盾

- 「ナポレオンが自由と革命の精神を掲げてヨーロッパと遠征を行ったことは、一方で、封建制の重圧に苦しむ諸国民の意識を目覚めさせ、他方で、フランス革命の影響が国内に広がるのを恐れる支配者に封建制の改革を促すことになった。」

日本	中国
<ul style="list-style-type: none"> • ウィーン体制と1848年革命 • 「ウィーン会議を開催した。会議は、フランス・ロシア・イギリス……の利害調整で難航した。」 	<ul style="list-style-type: none"> • 19世紀前期のヨーロッパと1848年革命 • 「ウィーン会議はロシア、イギリス、プロイセン、オーストリア四国に操られた。激しい喧嘩と条件の駆け引きしてから……」 • ❖ 醜い、貪婪のイメージ



維也納会议上大国分贓（漫画）

ウィーン会議で、大国の山分け（漫画）

ウィーン会議の評価

日本

- 「ウィーン会議を主催したメッテルヒニは、身分的特権を否定し民衆の政治参加を求める自由主義や、民族の統一や独立を要求する国民主義を、伝統的政治秩序を脅かすものとしてしりぞけた。」

中国

- 「ウィーン体系は、ヨーロッパ専制君主らが、高圧的な手段を用いて、封建統治秩序を維持することをはかった表れである。社会進歩の妨げになった。弱い民族の利益を踏みにじり、歴史の進歩の反発といえる。」
- 「この体系の下、各国は会議で争いと問題を解決するため、ある程度戦争を減少させて、近代国際関係の発展を促した。」

二月革命

日本

「四月に行われた選挙では社会主義者の土地政策を恐れた農民たちがブルジョア共和派を支持したため、ルイ＝ブランら社会主義者は大敗した」

「彼の指導する労働者のための政府委員会は解散され、国立作業場は解体された。これに対して、6月、労働者は蜂起した・・・」

中国

「資本家はデマをまき散らしたと同時に、農民と手工業者間の揉め事を引き起こし、反革命武装運動をしていた。6月下旬、これに対して、憤っているパリ労働者は蜂起し、資本家階級と戦い始め、四日間わたって血みどろになって闘ったが、失敗した。(六月蜂起)」

1848年革命の評価

- 1848年にヨーロッパ各地でおこった革命運動は、ウィーン体制を崩壊させたが、おおむね敗北をもって終わった。しかし、運動のなかで訴えられた民主主義や民族主義の要求はこれで消滅したわけではない。この後各国の保守勢力はこれらに譲歩しつつあらたな保守体制をつくり上げていった。
(日本)
- 1848年、ヨーロッパ革命の影響が広くて、ロシア以外のヨーロッパ大陸のほとんどのところに広がっていた。これは資本家階級による民族民主革命であり、ヨーロッパ封建勢力を強く打撃し、ウィーン体系を徹底的に崩壊させた。また、資本主義のいっそう発展に役立った。この革命に、労働者階級はとても重要な役を果たした。
(中国)

マルクス主義の誕生と社会主義運動の発展

中国

- 1、マルクス主義誕生の歴史的な条件とエンゲルス、マルクスによって提起された科学理論的な革命活動
- 2、第一インターナショナル成立の歴史背景と社会主義運動に対する推進
- 3、パリ・コミューンの成立とその革命政策

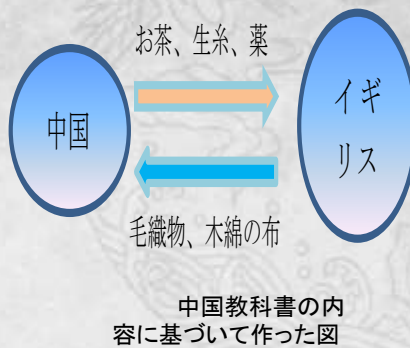
アヘン戦争

日本

- 三角貿易
- 「イギリスは自由貿易を要求して武力に訴え1840年にアヘン戦争をおこして勝利した。」
- 「清の主権は大きく損なわれ、欧米列強の中国進出がはじまり、中国は資本主義世界のしくみに組み込まれた。」

中国

- 「中国内でアヘン取締りを強化のニュースがロンドンに知られた後、イギリス政府はずっと前から企てていた侵略戦争を挑発した。」
- 「アヘン戦争は資本主義のイギリスによって武力で中国の鎖国政策を破って、侵略戦争である。これは中国の国民に深刻な災難を与えて、中国社会にも重大な影響を及ぼした。」





日清戦争

日本

- 各地に農民反乱が広がった。朝鮮政府がこの鎮圧を清に求めて清が出兵すると、日本もまた**天津条約に基づいて**出兵した。
- 朝鮮政府の撤退要請を拒否した日本は、逆に朝鮮政府に改革を要求してクーデタをおこし、さらに清の艦隊を奇襲攻撃して、日清戦争が始まった
- 甲午中日戦争
- **侵略の計画性**
列強の支持、黙認
- 朝鮮では「東学党」蜂起し、清政府に援助を求めた。清が出兵すると、日本は**機をとらえて**朝鮮に進軍した。
- 蜂起が鎮圧されたら、清政府は両国の軍隊を同時に撤退を提案したが、日本が拒否しさらに継続に軍隊を増やして、**戦争を挑発した**。
- 1894年7月、日本の海軍は朝鮮豊島海で中国の軍人を運ぶ船を攻撃し、**布告せず戦争をおこした**。8月、**清政府がやむを得ずに日本に宣戦布告した**。

日本外相陸奥宗光密令駐朝
公使：「促成中日衝突，實為當
前之急務，為實行此事，可採取
任何手段。」

——《蹇蹇錄》

- 日本外相陸奥宗光(むつむねみつ)から朝鮮駐在大使への密令の引用
- 「中日衝突を促成することは当面の急務であり、これを実施するために、何の手段を使ってもよい」

中国教科書の引用文献

❖戦争の計画性を強調

日本

- 「1895年、日清間で下関条約がむすばれた。この条約で、日本は遼東半島・台湾・澎湖諸島の割譲、賠償金の支払いなどとともに、朝鮮に対する清の影響力の排除に成功した。反対に清の洋務運動は挫折を強いられることになった。」
- 「下関条約」内容の省略
- 条約による日本国内にと中国に対する影響は言及されなかった。

- 中国
- 条約の内容詳しく述べた。
- 詳しい戦争の過程、結果
- 英雄人物の献身
- 国民が殺された写真
- 条約は中国に対する重大な影響と歴史的な意味
- ➡強い被害意識
反侵略意識、
民族感情



日军进入旅順市屠杀中国人的情景

- 日本軍人が旅順市で中国人を虐殺している様子

日本

- 列強の勢力圏拡大と義和団事件
- 「1900年には北京に入り、外国公使館を包囲した(義和団事件)。これに勢いづいた西太后らは各国に宣戦したが、ドイツ・日本・ロシア・イギリスなど8カ国は連合軍を編成して、北京を占領した。」

中国

- 義和団運動と8カ国連合軍による侵華戦争及ぶ暴行

「8カ国連合軍は北京無辜の人を虐殺し、強姦し略奪し、悪事の限りを尽くした。」

- 中国近代史の恥
- 反侵略
- 愛国精神

北京議定書の詳しい内容、影響

- ◆ 「喪権辱国」(中国語)
主権を喪失し国を辱める

日本

- **モンゴル人民共和国**
- 「辛亥革命をきっかけにして、それまで清の領土であった外モンゴルとチベットが独立を宣言した。外モンゴルでは、ロシア革命の影響のもとでチョイバルサンらがモンゴル人民党を結成し、**1924年にモンゴル人民共和国を建国した。**」
- **ダライ=ラマ13世の独立**
- 「チベットでは、親中派と親英派との対立が激しくなり、清朝が倒れると、**1913年ダライ=ラマ13世が独立を宣言した。**その後、東チベットをめぐる紛争状態がつづき、1938年に中国が**西康省**をもうけたが、チベット側は認めなかった。」

中国

- (アジア人民民主国家)
- 「1946年、同時の中国政府はモンゴル人民共和国の独立を認めた。」

❖モンゴルの独立のことはわからなくて、1946年までの外モンゴルはどんな状態なのかわからない。

「中国のチベットに関して、イギリスとロシアはお互いにチベットの既得利益を認めあって、チベットの現状を維持し、また中国のチベットに対する主権を承認した。(1907年英露協商)」

❖ダライ=ラマの独立意図について触れたが、いつ独立を宣言したか、また西康省について何も述べなかった。

第一次世界大戦

日本

- 列強の対立
- バルカン問題
- 反戦運動
- 1914年夏と総力戦
秘密外交(ロンドン条約、フサイン=マクマホン協定、サイクス=ピコ協定など)
- 1917年と戦争の終結

中国

- 帝国主義国家間の争い
1 争いの根源と本質
2 三対の基本対立
仏独、英独、露墺
- 三国同盟、三国協商
- 第一次世界大戦
戦争の始まり
戦争の性質(不正義)
戦争戦局の転換(詳しい記述)
戦争の結果

第一次世界大戦の結果

日本

- 「ヨーロッパ全土が戦場となり、ロシア・ドイツ・オーストリアの三帝国が崩壊し、オスマン帝国も決定的に弱体化した。」
- 「その一方で、市民の民主的権利や民族自決権に対する自覚が高まり、戦後、民主主義と民族主義が世界的な潮流となったが、それに対抗しようとする動きも激しくなった。」

中国

- 帝国主義と植民主義の力を弱らせた。ロシア、ドイツ、オーストリアなどの帝国が崩壊し、イギリス、フランスとイタリアなど帝国主義も弱体化した。
- 戦争の後期、ロシアのプロレタリアートは、社会主義革命の勝利を得た。戦後初期、資本主義国家の労働者階級革命運動とアジア、アフリカ、ラテンアメリカにおける民族解放運動のブームが起きた。



- アメリカの繁栄
 - 国際金融中心
 - 好景気
 - 大衆文化
 - ジャズ音楽
 - 社会主義勢力を抑圧する姿勢
- 20年代のアメリカ
 - 国際金融中心
 - 好景気
 - 繁栄で隠れた危機
 - 貧富差

日本

- 済南事件
- 日本は中国での権益が損なわれるのを恐れて、山東出兵を三度行ない、1928年には北伐軍と軍事衝突した(済南事件)

中国

- 済南虐殺(惨事)
- 1928年4月、国民政府は奉系軍閥を倒すために、北方に出兵した。北伐軍隊が迅速に済南を占領した。日本帝国主義は国民政府の北伐を阻むために、**済南を侵略し、大量に軍隊と民衆を殺戮した。「済南虐殺」**
- 蒋介石は済南から撤兵の命令を出した。北伐を続けた。

満州事変

- 満州事変
- 1929年に世界恐慌がおきると、日本では、農民の窮乏や労働者の失業が深刻化し、小作農民や労働者の争議がたびたび起こった。
- 社会不安が深まるなか、1931年9月18日、関東軍、奉天郊外の柳城湖で満鉄線路を爆破し、これを中国の破壊工作だとして、主要都市をつぎつぎと**制圧**していった。(満州事変)
- 九・一八事変
- **日本は中国の領土を手に入れてほしくてたまらなかった**……日本政府は国内の視線を移すために、また階級対立を和らげるために、中国の東北で**侵略戦争**を起こした。
- 1931年9月18日、日本関東軍は南満鉄線路を爆破し、それを中国軍隊の工作として、東北を攻撃し、瀋陽を**占領**した。これを「九・一八事変」と呼ばれた。

南京大虐殺

日本

- 「日本は、満州事変と同じように中国を簡単に屈服させることができると考えたが、中国の抵抗は強かった。日本軍はようやく上海をおとし、12月に首都南京を占領したが、**大量**の捕虜や民間人を虐殺し、世界から強い非難を浴びた(**南京大虐殺**)。」

中国

- 30万人ほど被害**
- 虐殺を目撃していた日本人の記者の記述
- 「埠頭で黒くこげる死体だらけ、山のように積んでいた・・・」

第二次世界大戦

•第二次世界大戦と戦局の展開

ドイツ・イタリアの動きと宥和政策
第二次世界大戦の開始
連合国とアメリカ
ドイツの占領支配と抵抗
アジア・太平洋の戦争
日本のアジア支配

•第二次世界大戦下の諸地域

アメリカ・オセアニア
北アフリカ・西アジア
南アジア
東南アジア・東アジア

•大戦の終結と戦後構想

連合軍の反抗

(日本)

• ミュンヘンの陰謀

•第二次世界大戦の勃発

独によるポーランドの奇襲
英と仏の動き及ぶロシアの東方戦線
ドイツ軍の西線侵攻Dunkerqueの撤退

フランスの陥落
チャーチルをリーダーとして全国による抵抗戦争

• 露独戦争の勃発と日本軍による真珠湾の攻撃

独、伊、日三国同盟
ドイツ軍によるロシアの奇襲
モスクワの防衛線

(中国)

中国教科書の特徴

- 1内容について
 - ◆本文の違う字体
 - ◆本文と分かれて、補充文献
 - ◆試験内容ではない章に記号で区別
 - ◆重要内容に詳しい説明
 - ◆あまり重視されない歴史事件に簡略、削除
- メリット
- →受験勉強するとき重要な部分がわかりやすい
- デメリット
- →削除された事件について全然分からない、歴史勉強によくない（重要かどうかの判断基準？）

• 2、主観な感情、価値観

- ❖愛国主義教育、民族精神
英雄の業績、戦場の写真、
政治的な意味を持つ言葉の使用、侵略を特化
歴史事件について、影響と評価が多い

• 3、人物肖像が多い

• 4、文章の引用が多い

偉い人の話、共産党宣言など

• 5、社会主義の立場

資本主義との対立の立場、共産主義の特化など

日本の教科書の特徴

- 1、客観事実
事件の評価、影響について少ない
主観的な感情を入れない
- 2、範囲が広い、勉強量が多い
- 3、植民された人々の苦難の簡略、植民国家による戦争の侵略性質の弱め

三、中国歴史教育から見るジェンダー

His story

・ 二、女性人物のステレオタイプイメージ

- 1 正面人物 → 賢妻良母
- 2 反面人物 → 悪魔化、一方的偏っている

中国古代の18名女性

- ・ 皇帝 武則天
- ・ 皇后 幽王(周)の皇后申姓、李世民の皇后長孫姓
- ・ 妃 褒姒(ほうじ)、楊貴妃
- ・ 皇女 王昭君、細君公主、永楽公主、文成公主、金成公主、唐徳宗の八番目の娘
- ・ 文学者、書道家 蔡文姫、衛夫人(衛鑠)、李清照
- ・ 労働者 陳宝光の妻(後漢の民間紡績家)、黄道婆(こうどうおばあさん)、曾参の母親
- ・ 皇族の人 11人
- ・ 庶民 7人

中国最後の女帝

高校教科書から見た西太后



- 西太后の野望
- 1861年の秋、咸豊帝は崩御した。載淳は同治帝として即位し、載垣、肅順ら8人の「顧命大臣」は後見人になった。載淳の生母である西太后(当時は懿貴妃)は咸豊帝の棺を熱河から北京へ運ぶと即座に辛酉政変を発動し権力を奪った。同治帝の後見として垂簾聽政を行い、実質的には西太后と恭親王の二頭政治であった。(33ページ)
- 漢民族官僚を抜擢
- 太平天国の乱に対して、正規軍である八旗や緑營が機能しなくなっており、清朝は再び地方の地主たちを動員し、団練の基礎の上に成り立つ地方軍が形成された。その漢民族官僚たちが欧米列強に支持されるために、西太后は軽蔑できなく、曾国藩、李鴻章、左宗棠、張之洞らを登用した。(34ページ)
- 洋務運動に肩もつ
- 西太后は清王朝統治の基礎を固めたため、大勢に押されて洋務運動を支持せざるを得なかったから、しばらく実力をもつながら西洋人に認められる洋務派を支えることを選んだ。(35ページ)

- 日清戦争の敗北主因
- 李鴻章は西太后が還暦祝い(万寿慶典)を準備中なので、日本と合解して欲しかったのゆえに、「避戦求和」(戦争を避けて和解を求める)政策をの遂行を決意し、消極的な抵抗方針を採用した。(48ページ)
- 三度目の垂簾聴政
- 光緒24年9月21日に、西太后が、栄禄、袁世凱らとともに、武力をもって戊戌の変法を挫折させた。光緒帝は監禁されて実権を失い、変法派の主要人物は処刑。(64ページ)
- 義和団を弄ぶ
- 諸外国の干渉に不満を持っていた西太后は、義和団を優勢と見た主戦派の意見に賛同し、諸外国に対して「宣戦布告」した。しかし、西太后は諸列強に抵抗する決心を持っていなかったから、落ち着いたらすぐにほういされた公使館に差し入れを送っていった。列強8か国が連合軍を組織して北京に進撃し、西太后と光緒帝は西安へ難を逃れた途中で、義和団を弾圧する上諭を出した。(67—68ページ)

- 罪に問わず
- 西太后は、列強が自分を義和団の乱の元凶を扱わなかったから、清朝のそして西太后の地位さえ保全を条件に、金で済むことなら糸目をつけないと北京議定書を取りわかった。「中華の物力を量りて、與国の歎心を結べ」という厚かましく恥知らずなことをいい、中国を列強に売った売国奴の正体が明らかになった。

『中国近代現代史』上70ページより

- 三、female images get ebbed and smeared
(男性の引き立て役)

例 宋美齡、イザベル一世

宋美齡

- 「9月、蒋介石は日本に行った。三つのこと完成させた。1、宋美齡と結婚するために、日本にいる親米の宋家家長の承託をもらった。蒋宋の結合によって、蒋介石の親米外交路線を確認できる。当時、蒋介石と宋美齡の結婚写真を載せた上海の新聞は「中美合作」をタイトルとし、蒋中正の「中」と宋美齡の「美」を巧妙に使って、この婚姻の政治意味を強く示した。……1948年、蒋介石は宋美齡を連れて、アメリカに援助を求めるに行った。何の収穫もなかった。」
- コメント 宋美齡は蒋介石とペアで紹介し、一言しか言わなかった。共産党と対立の人物のイメージが強く感じた。

本当の宋美齡

- 1、愛国の人、女性支援と社会奉仕
- 2、外交官として政治界で活躍
- 3、よい妻

イザベル(1世)

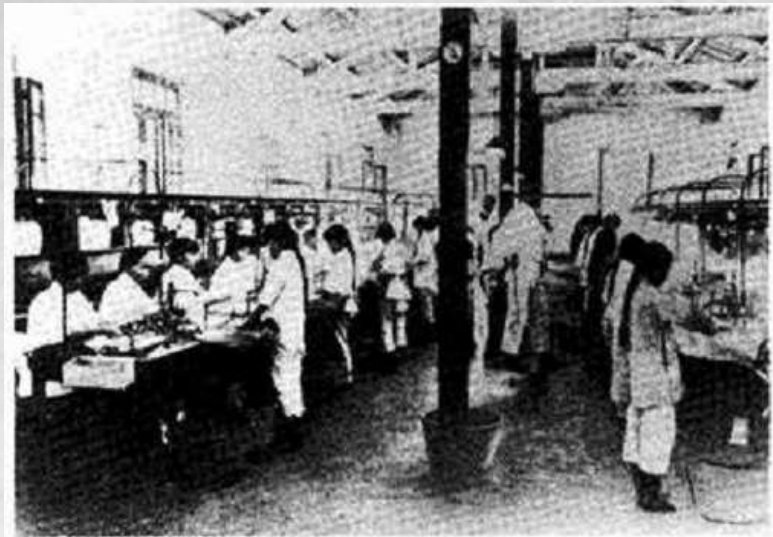
- 本文にイザベル1世を述べなかったが、注釈のところ以下のように書いていた。
- 「1603年、イギリス女王のイザベル亡くなった。彼女は一生も結婚せず、跡継ぎがない。遠縁の親戚スコットランド国王は跡継ぎとなって、ジェームズ1世(1603-1625年在位)と呼ばれた……」

イザベル1世の政治活動、功績などに一切述べなかった。ジェームズ1世とステュアート朝を紹介したとき、ついでにイザベルの話をした。

優れている政治家のイザベル1世のように多くの優秀な女性は学生に知られなくなった。

資本原始的蓄積 —女工の哀史

- イギリスでは、市場・資本・労働力など産業革命の条件がととのい、あらたに生まれた機械制工場では、機械によって作業が単純化され、女性や子供がやすい賃金で雇われた。
- 洋務運動のとき、中国資本主義工場の勃興した、たくさんの女工は安い賃金で雇われた。「まさに地獄と同じだ」、ある外国の資本家は女工劣等な職場についてそう言った。



在把头监视下劳动的纱厂女工

ボス監視のした、紡績工場で働いている女工

机间宽又长，织机二百张，织工二百人，排列成长行。

.....

旁有一大屋，女工共百人。

.....

外面一间屋，童工一百五，并坐捡细毛，不敢怨劳苦。
都是穷苦人，终日不休息，清晨到深夜，各得一便士。

.....

又有一大厅，五十剪毛工，施展好手艺，天衣全无缝。
又有八十人，洗呢更浆呢。染工又八十，呢绒着颜色。
二十辮制匠，整呢折成匹。

——16世纪英国民歌

16世紀イギリス民間に伝わる歌

女工、童工の辛さについての内容である。

参考文献

- 『中国近代現代史』1 人民教育出版社、全日制普通高校教材
- 『中国近代現代史』2 同上
- 『世界近代現代史』1 同上
- 『世界近代現代史』2 同上
- 『中国古代史』 同上
- 『世界史B』 三省堂
- 陈恒瑜“中学历史教科书中女性角色的趋势与回归” <http://cnki.net> pp.6~12
- 关键“中日高中历史教科书比较” <http://cnki.net> pp.31~32